

恒例の窯業同窓会・見学会を平成24年9月27日（木）に開催しました。今年は、日本の屋台柱を支えている巨大装置産業の日本板硝子株式会社と新日本製鐵株式会社を見学させて頂きました。

材料工学専攻修士学生27名、同窓会員17名を乗せたバスは、朝9時に大岡山を出発。車中、見学概要説明並びに複数の企業経験を持つ中島章教授の経験談をお聞きしました。OBは勿論学生さんが社会に出た時に参考になるお話でした。

日本板硝子では、最新のフロートガラスの製造工場並びに強化ガラスと合わせガラスの加工工場を見学しました。溶融窯の中を覗いたり、型押しの工程を上から見た時はかなり熱かったのですが、興味が先行して熱さを忘れて見学しました。

新日本製鐵・君津事業所では、連続鋳造、圧板工場、プラスチックリサイクル設備を見学しました。40年前と比べて工程的には同じように見えたが、転炉の両吹き、連続鋳造、廃プラスチックのコークスへの利用等、大きな変化を勉強しました。

社名変更前のお忙しい時にもかかわらず、見学終了後、設備・保全センター長の後藤様、東工大OBの笠井様はじめ多くの卒業生の皆様との交流会を設けて頂き、楽しく意見交換をさせて頂きました。

帰りのバスでは、尾島氏の司会でOBと学生の自己紹介や感想を語り合い、あっという間に大岡山に到着。21時を廻っていました。

お世話になった日本板硝子と新日鐵住金の各社にこの場をお借りして感謝申し上げます。







東京工業大学・窯業同窓会 見学会 新日本製鐵主催懇親会風景 平成24年9月27日